

令和7年度 障害者支援施設リホープ 地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和8年1月18日(日) 10:00~10:20 施設見学 10:25~12:00 会議
開催場所	応接室
出席者	職員 副施設長 麻生知明 主任 吉田伸作 入居者 S氏 O氏 家族 M氏 行政 佐倉市障害福祉課 H氏 地域関係者 T氏
議題	1. 施設の運営状況および利用者構成の報告 2. 施設の歩みと支援内容(生活・作業・専門的支援)の説明 3. 令和7年度の行事計画および職員研修の実施状況 4. 事故・苦情発生状況の報告と対策 5. 外出支援・買い物支援の現状報告 6. 質疑応答および地域・家族会からの意見交換
配布資料	・次第 ・資料

議事録

1 施設の運営状況および利用者構成の報告 資料に沿って説明がされた。	
麻生	施設入所支援(定員50名)、生活介護(定員50名)、短期入所(定員2名)を運営しており、利用者の平均年齢は58歳、障害支援区分の平均は4.8と高齢化と重度化が進んでいる。視覚障害者の割合は72%である。昨年度、女性入居者の看取りを実施、また、当年度グループホームへ1名地域移行した。
2 施設の歩みと支援内容(生活・作業・専門的支援)の説明 資料に沿って説明がされた。	
吉田	日中活動については(園芸班・受注班・手工芸班・いろどり班)と別れており、作業内容は先ほど見学していただいた時に説明した内容となる。その他に、歩行・生活訓練のほか、PC訓練(2階に専用機あり)を実施している。点字プリンターも導入されており、勤務表・献立作成などに活用されている。入居者の皆様は訓練以外でも、音楽を聴いたり、動画を視たり、点字勤務表の作成など協力してもらうなど、活用されている。

3 令和7年度の行事計画および職員研修の実施状況 資料に沿って説明がされた。	
	質問などなし
4 事故報告について 事故5件が報告され、特に職員間の連携ミスによる事故への対策が議論された。	
地域関係 T 氏 麻生	<p>放置はどのような経緯で起きたのか。また、金銭トラブルについても教えてほしい。</p> <p>放置事故については、当日、病院へ受診するため入り口前の椅子に座って待機していたが、その日は職員だけの代理受診へ変更となっていた。その連絡が職員間で共有されなかったことが要因である。対策：代理受診等の変更時は日誌へ記録し、職員間で二重・三重の確認を行う体制を構築した。</p> <p>また、金銭管理事故については、入浴時の管理ミスにより小遣いが紛失した件を受け、現在はポーチの返却確認など管理方法を個別に見直した。</p>
5 外出支援・買い物支援について 資料に沿って説明がされた。	
行政関係 H 氏 地域関係 T 氏	<p>寿司、テーマパーク、旅行、マラソンなど利用者の希望を尊重した支援を行っており、施設として努力している姿がうかがえる。</p> <p>入居者 S 氏によるエレクトーン演奏が地域で好評を博しており、「どんどん依頼が増えている」と地域交流への貢献が素晴らしい。</p>
6 質疑応答および地域・家族会からの意見交換など	
行政関係 H 氏 吉田 入居者 S 氏 入居者 O 氏	<p>自治会はどのような活動をしているのか。地域との交流（防災関係も含めて）はどのような形で行っているか。</p> <p>地元の小・中学校で、福祉学習（点字学習）やポッチャ大会など、地域との交流は継続されている。自治会の防災関係の会議に出席し連携をとっている。</p> <p>施設内には30年続く「リホープ自治会」があり、飲酒や洗濯の時間など、利用者同士でルールを決定している。民主的な運営：毎年3月に選挙管理委員を立て、会長・副会長・書記・会計を選出している。飲酒や洗濯の時間など、生活上のルールは職員が決めるのではなく、自治会で話し合っ決定している。過去には飲酒によるトラブルもあったが、自治会で罰則を設けるなど、自分たちで秩序を維持してきた。また、自分たちで「夏を楽しもう会」や「もみのき会」などの行事を企画している。</p> <p>会長として栄養士との「栄養改善会議」にも出席しており、利用</p>

	者全体の声を代表して要望を伝えている。「肉を出してほしい」「揚げ物を増やしてほしい」という要望が毎回ある。
家族 M 氏	家族会の再活性化を希望したい。コロナ禍で減少した家族参加の行事（清掃活動など）を復活させ、利用者だけでなく家族同士の繋がりや、兄弟への引き継ぎを支援していくことが重要課題であると思うので、検討してほしい。
<p>その他の意見など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアについて マラソンボラ、草笛クラブの方などいるが、傾聴ボランティアのような方もいると、良いのではないか。 ・ 外部の視点の導入 高齢者福祉で導入されている「オンブズマン制度」（市民が施設を訪問し、利用者の声を聞く制度）を障害者施設でも取り入れ、運営の透明性を高めたい、障害福祉課で検討していただけないか。 ・ インフラの課題 入居者（自分で出かける方）地域バスの本数が 3 時間に 1 本程度に激減しており、自力で通院や外出をする利用者にとって大きな障壁となっている現状が共有された。 	